

平成27年度 第2回

茨木市中心市街地活性化協議会
— 会議録 —

会 議 録

(敬称略)

会議の名称	平成27年度 第2回茨木市中心市街地活性化協議会
開催日時	平成28年2月1日(月) 午後2時00分開会・午後4時00分閉会
開催場所	茨木商工会議所 会議室
会 長	山野 寿
出席者	〔協議会構成員〕 山野 寿 (中心市街地整備推進機構 ((一社) 茨木市観光協会) 会長) 木村 正文 (茨木商工会議所 専務理事) (協議会副会長) 鎌谷 博人 (茨木市 都市整備部長) (協議会副会長) 齊藤 雅通 (立命館大学 経営学部 教授) 山本 博史 (追手門学院大学 地域創造学部 教授) 山田 久敬 (茨木市商業団体連合会会長) 奥出 章寛 (株ガンバ大阪事業部 ホームタウン推進課長) (以上、計7名)
欠席者	無し
事務局	中心市街地整備推進機構 ((一社) 茨木市観光協会) 小池事務局長 茨木商工会議所 鳥山次長 茨木市 田邊都市整備部次長兼都市政策課長、 石野都市政策課長計画係長 福田都市整備部市街地新生課参事
議 題	茨木市中心市街地活性化基本計画検討状況の報告
傍聴者	無し

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
○事 務 局	ただ今から第2回茨木市中心市街地活性化協議会を開会する。 協議会の開会にあたり、山野会長よりご挨拶を頂戴する。
○山野会長	(あいさつ)
○事 務 局	本日の出席状況をご報告させていただく。委員総数は7名のうち、委員全員にご出席いただいております、協議会規約第10条第4項の規定により、本日の協議会は成立している。 なお、ガンバ大阪様におかれましては、組織改編に伴い、事業本部伊藤副本部長に代わり、協議会規約第9条第3号の規定に基づき、事業部ホームタウン推進課奥出課長に今後の委員を務めていただく。 奥出課長から一言ご挨拶を頂戴する。
○奥出委員	(あいさつ)
○事 務 局	それでは、協議会規約第10条第3項の規定により、以後の本協議会の運営を会長である、山野会長にお願いする。
○山野会長	これより議長を務めさせていただくので、ご協力をお願いする。本日は、中心市街地活性化基本計画策定に向けた取組状況について市より説明をお願いする。
○事 務 局	『茨木市中心市街地活性化基本計画検討状況の報告等について』 (配布資料を用いて説明)
○山野会長	市より説明は以上である。報告いただいた内容について、何かご意見、ご質問等はあるか。
○斎藤委員	基本計画の策定にあたっては、個々の事業を集めるだけでなく、「茨木市らしさ」がどこにあるかを明確にした方が良いのではないかと。茨木市には土器や銅鐸などの歴史的文化的資源があり、そういった地域の魅力を踏まえて計画を策定した方が良いのではないかと。長期的な視点を持って、独自のストーリーをもったまちづくりを考えて基本計画に活かしていかなければならない。ドイツのケルンやアメリカのミネアポリスの例にもあるように、都市のコンセプトを大切にすべきである。 都市の中心となるシンボルがあることによって、市外からの集客や回遊性の向上につながると考える。 例えば、茨木市には日世があるので、商店街毎に違う味のソフトクリ

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	ームを作って、リピーターを増やすような取組みや市民会館の建替については、ホール建設だけでなく、まちのアイデンティティを感じることができるようなシンボリックなものを作ることが大切であると考えている。
○田邊課長	本市の中心市街地の魅力として、中心市街地の中央部に元茨木川緑地があるが、これを十分に活かしきれていない。今後は、こういった魅力を活かした公共施設整備を進めていきたい。 また、ハード事業として、市民会館の跡地活用、JR・阪急両駅の整備、一方通行化構想の検討や、公共空間を活用した取組みを進めていきたいと考えており、一時的なイベントだけでなく、恒常的な賑わいに繋げられるようなまちづくりを進めていきたい。
○山野会長	一方通行化構想の実現には、実施までに長期間を要するのか。
○田邊課長	総合計画や都市計画マスタープラン、また、総合交通戦略において位置付けされており、市として積極的に取組んでいきたいと考えている。 実施にあたっては、関連する道路の整備後に、社会実験を踏まえて事業実施となるが、まずは、関連する道路整備が必要なため、今回の基本計画期間内での実現は難しいと考えている。
○山野会長	一方通行化の際には、現状、一部歩道において、幅員が狭く危険な箇所があるので、合わせて検討いただきたい。
○山田委員	計画書に「いばらき童子まつり」について記載してほしい。 また、市役所から西側の商店街については、電線の地中化が進んでおらず、電線の地中化の検討をお願いしたい。
○田邊課長	電線の地中化についても歩通行化を検討する際に合わせて取り組んでいきたいと考えている。 「いばらき童子まつり」については、計画書に記載するものとする。 ただし、既存のまつりを活かして別の事業と連携した取組みを進めることによって恒常的な賑わいを生むなど新たな事業の掘り起こしについて、商店街においても議論頂きたい。
○山田委員	恒常的な取組みについて、商店街も検討しているが、良い案については出ていない状況である。 現在は学生と一緒に商店街マップを作成しており、こういった働きを将来的に中心市街地の発展につなげることが出来ればと考えている。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
○山本委員	<p>市民にとっての「茨木らしさ」を発信していかないといけない。</p> <p>空き店舗の利活用の事例として、丸亀市の商店街では、多数存在する空き店舗について、NPO 法人が空き店舗と事業者をマッチングする仕組みがあったが、何年後かにはマンションに変わっていた。</p> <p>また、天神橋筋商店街では、空き店舗前で営業していた屋台が、商店街振興組合によるマッチングの取組みにより、空き店舗に入り営業するといった事例もある。このように、商店街の空き店舗対策も様々な事例があるが、茨木に合った取組みをしなければ、商業活性化には繋がらないと考える。</p>
○田邊課長	<p>「茨木らしさ」や茨木発祥になるものについて、今後専門部会等も含めて検討を進めていきたいと考えている。</p>
○山野会長	<p>他事例でも、商店街の中にマンションが建つ事例も増えてきている状況であり、空き店舗の利活用については、売上だけを見るのではなく、様々な視点から検討を進めていただきたい。</p>
○田邊課長	<p>空き店舗の跡地利用で、マンションを建設し、その結果、中心市街地の人口が増えるという状況になっている。市としては来訪人口をいかに増やすかといった視点から検討を進めていきたい。</p>
○木村委員	<p>10年ほど前に実施した市民ワークショップでは、中心市街地の中央に緑が多く存在することが、茨木市の魅力であるという意見が多数あった。</p> <p>一方では、元茨木川緑地が商店街を分断しているという声もあるが、元茨木川緑地を本市の魅力と捉えて活性化に向けた取組みを検討していかなければならないと考える。</p> <p>中心市街地の空き店舗等のマンション化を防ぐにあたっては、地区計画などでマンション建設を規制することも考えられる。</p> <p>また、茨木の魅力 PR の一つとして、茨木川から水を引いて日本で初めてプールを作った「茨木高校」があるといった事も PR の材料に出来るのではないかと考える。</p> <p>茨木の強みとしては、中心市街地にみどりが多く、ジョギングもできるまちであり、また、中心市街地でたくさんのイベントが行われているまちであるということは発信すれば良いのではないかと考える。</p> <p>一方で、茨木の欠点としては、宿泊施設が少ないことや、高齢化が進んでいる商店街の活性化にも新たな仕組み作りが必要であると考えている。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
○山田委員	商店街の後継者の事例として、経営者が変わることにより、商店街に非協力的な経営者が出てくるような事例が、問題として挙がっている状況である。
○田邊課長	<p>中心市街地は商業地域であり、マンション計画があった場合には、低層階に店舗を入れてもらうように指導を行っている。</p> <p>また、空き店舗の活用については、借りる側と貸主との想いの違いにより、トラブルが起こる事例もあることから貸主も貸しにくいといった事もあるため、お互いの意思疎通が図れる様な仕組み作りが必要であると考えます。</p>
○奥出委員	<p>昨年、11月11日にエキスポシティが開業し、年間1700万人（参考：USJ年間1200万人）の動員を見込んでいる。今年5月には日本最大の観覧車等の建設も予定されており、来場者は増える見込みである。ガンバのスタジアムにおいても、今年2月から稼働予定であり1試合当り、4万人の来場者が見込まれる。</p> <p>また、駐車場整備については、ガンバスタジアムで2,000台、エキスポシティは4,500台を整備している。</p> <p>なお、利用者の多くはモノレールを利用し、乗車数は以前の約6倍になっている。</p> <p>バス利用者は、JR茨木駅からの利用が大半である。中には茨木駅から歩いてスタジアムに来場される客も多い。活性化には、バスの発着点となるJR茨木駅からスタジアムやエキスポシティへ訪れる客をつかむことが大切であり、立命館や追手門や阪大などの大学生も併せて中心市街地に回遊させる仕組みが必要であると考えます。</p> <p>また、先ほど意見もあったが、宿泊施設が無いのは残念であり、今後検討いただきたい。スタジアムについても、ガンバ大阪が48年間の指定管理をすることとなっており、茨木市民の方も含めて、スタジアムへ来ていただける環境インフラの整備に努めていきたい。</p> <p>茨木市は、レンタサイクルなどの自転車施設は充実しているので、利用者がスタジアムだけでなく周辺を利用することが出来るようになれば、よりよいまちになると考える。</p>
○木村委員	日航ホテルがあった時は、ガンバの試合の日は満室であった。現状、宿泊は大阪市内を利用する人が大半である。
○鎌谷部長	ビジネスホテルで対応は出来ないか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
○木村委員	ビジネスホテルは、部屋数が少なく難しい。
○山野会長	ガンバ大阪の年間の試合は昼と夜どちらの割合が多いのか。
○奥出委員	19：00 から 21：00 までのナイターの時間が多い。 そのため、関東からの客は宿泊するが多い。
○田邊課長	モノレールは臨時便での対応をしている。 バスについては、バースの増設などの対応を行っているが、利用客は増加していない状況である。利用客の増加を図るため、ガンバ大阪からの提案事業等を検討することも必要であるが、ガンバ大阪としても何らかの形で事業実施段階でもご協力いただきたいと考えている。
○鎌谷部長	基本計画策定にあたっては、すでに御意見にもあがっているが、私も「茨木らしさ」が重要であると考え。「茨木らしさ」とは「今ある茨木らしさ」と「隠れている茨木らしさ」と「これから造り出す茨木らしさ」があるとのお話があった。元茨木川緑地についても「茨木らしさ」を代表する一つと考える。 基本計画の策定にあたっては「茨木らしさ」について市だけでなく、民間事業者からの御意見をいただきたい。 中心市街地全体を一度に活性化するのは難しいが、小さな区域で活性化を行い、それを区域全体にちりばめることが大切であると思う。合わせて必要なハード事業については、御意見を踏まえながら市で対応を検討する。
○山本委員	学生が、JR・阪急からスクールバスを利用するため、中心市街地を訪れる機会が少なく感じる。 例えば、スクールバスを駅前に発着させるのをやめてはどうか。
○山野会長	スクールバスについては、観光協会からも中央公園の南グラウンドに発着させてはどうかと市に提言している。そこからであれば JR・阪急両駅に徒歩で移動することとなる。
○事 務 局 (鳥山次長)	山田委員からご説明のあったマップ作りに関しては立命館大学と追手門学院大学の学生に関わっていただいている。 他にもまちづくりに関する取組みとして、立命館大学では大学の開学にあたって、ソフトクリーム作り等にも関わってもらっている。 追手門学院大学では学生を中心として、茨木まつりに向けたパン作り

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	などに取り組んでもらっている状況である。
○山野会長	事例のような身近な取組が大切である。専門部会でも検討を重ねてもらい、より良いものを作ってもらえると良い。
○事務局 (小池事務局長)	地域ポイントシステムの構築については、庁内での調整をお願いしたい。
○田邊課長	茨木独自のシステム構築が出来るように検討を進めていきたい。
○山本委員	来年度より1回生に市の第5次総合計画をテキストとして用いた授業を展開していきたいと考えている。内容に関して市民や学生からの問い合わせがあった場合の対応について、よろしくをお願いしたい。
○山野会長	他に質問が無いようなので、これで質疑を終了させていただく。 以上で、第2回茨木市中心市街地活性化協議会を閉会する。 最後に、市から連絡事項があればお願いしたい。
○石野係長	現在、茨木のシティプロモーションの基本方針がパブリックコメントを実施しているところであり、その中に、意見の多かった「茨木らしさ」に関する記載もある。その辺りも参考にさせていただければと考えている。
○事務局	委員の方々には長時間に渡り議事運営にご協力いただき、お礼申し上げます。次回の会議の日程等につきましては、決まり次第事務局より連絡させていただきます。 以上で、第2回茨木市中心市街地活性化協議会を閉会する。
	(16時00分閉会)